

拠出金名: 国連国際防災戦略事務局拠出金

国際機関等名	国連国際防災戦略 (英文名称・略称) International Strategy for Disaster Reduction (ISDR)					
種別	国連(事務局)		国連(基金・計画)	国連専門機関	その他	
所轄官庁担当局課名	外務省国際協力局地球環境課					
最近3年間の我が国支払額及び拠出率、ODA率						
単位	金額				拠出率(%) (注)	ODA率(%)
	邦貨 (千円)	外貨1 (千ドル)	外貨2 (千)	レート		
平成17年度	0	0			(2005年)	-
平成16年度*	440,000	4,000		1\$ = 110円	(2004年)	100
平成15年度	-	-		-	(2003年)	-
スマトラ沖大地震およびインド洋津波被害に関するISDRを経由した支援(予備費)						
拠出上位5ヶ国(日本は、各省拠出分を含む額)				国際機関等の財政 (2005年度決算)		
	国名	金額(千ドル)	率(%)	当該年度の収入	5,979,209ドル	
1位	日本	4,536	25.69	当該年度の支出	4,909,550ドル	
2位	欧州委員会	3,041	17.23	次年度への繰越	1,069,659ドル	
3位	スウェーデン	2,417	13.69	会計検査機関名		
4位	ノルウェー	1,861	10.54	OIOS(内部監査部)		
5位	フィンランド	1,607	9.1	(現在の構成員の出身国:)		
上記の率及び順位は2005年のもの(平成16年度拠出を含む)						
当該機関に対する我が国としての評価(当該国際機関の政策に対する我が国の意見の反映度を含む)						
<p>2005年1月、我が国の提案の下、国連総会決議に基づき、UN/ISDRを会議事務局として国連防災世界会議が兵庫県神戸市で開催され、世界の防災活動の指針となる「兵庫行動枠組(2005-2015)」が採択されるなど大きな成果を収めた。当該行動枠組には我が国が提案した方針や施策が盛り込まれるなど、我が国の貢献も適切に反映され、国際社会から評価を得た。さらに、我が国は本会議の成果の実施及びフォローアップを重視しており、国際社会において、国連加盟国、国連機関をはじめとする国際機関等多様な関係機関の適切な連携、調整により防災活動がより一層促進されることが求められるところである。また現在、こうした役割を担う国連システム内の調整機関としてのISDRを強化する方向で検討が進んでおり、我が国としては、その活動に対する支援を一層強化する必要があると考えている。</p>						
<p>合理化、機能強化のための改革が行われているか。 行われている場合はその現状と我が国としての評価</p>						
<p>国連防災世界会議の成果の実施及びフォローアップの調整機能を担うことが期待されているISDRがその役割を適切に果たし、国連システムにおいて関係機関との連携の下、災害リスク軽減の活動が効率的かつ効果的に展開されるべく、ISDRの監督責任者である国連人道問題担当事務次長のリーダーシップにより、ISDRの機能強化が行われている。わが国としては、国連防災世界会議の開催国として、その成果の着実な実施に資する機構改革を支持し、積極的に関与している。</p>						
邦人職員数	3人	当該機関の職員数及び	52人			
うち幹部以上	うち 0人	邦人職員が職員全体にし	5.8%			
邦人職員が占めている幹部ポスト						
ポストの名称		職員氏名		備考		
当該機関重要ポストへの邦人職員送り込みについての具体的な計画						
未定						

* スマトラ沖大地震およびインド洋津波被害に関するISDRを経由した支援(予備費)。

(注) 我が国と各国とは会計年度が異なるため、拠出率については暦年(2003年~2005年)。